

第17回 旭川流域連絡協議会（本会）議事録

日 時：平成17年6月7日（火）14：00～15：00

場 所：建部町文化センター 2階多目的室（4）

参加者：岡山市、瀬戸町、赤磐市、吉備中央町、建部町、久米南町、美咲町、真庭市、新庄村、
岡山県備前県民局、岡山県美作県民局、国土交通省岡山河川事務所

開会挨拶 岡山河川事務所 浦上 将人 事務所長

今年の4月に参りました、岡山河川事務所所長の浦上と申します。どうぞよろしくお願ひします。開会に当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。

ご存知のとおり、昨年は10個の台風が上陸し、その内4個が岡山県に影響を与え、流域の各地で高潮、内水、土砂災害、風倒木など大きな爪痕を残しております。昨年が異常な年ではなくて、防災を考えるに当たって最悪を考えるという観点に立ち、災害が起こるのが当たり前という考えで体制を充実させていく必要があると考えております。去る6月2日、今年度の旭川の洪水予報連絡会・水防連絡会を併せて開催いたしました。その中でも昨年の経験を踏まえて体制を見直し、強化した部分について説明させていただいております。また、当事務所におきまして、6月10日に官報告示いたしますが、旭川の直轄区間のみですが、水防法に基づいて浸水想定区域を公表し、6月11日から閲覧可能の予定にしております。

国におきましても直轄区間だけでなく流域全体に関してどれだけお手伝いできるかを考えておりますが、例えばの話をつくつご紹介させていただきます。測量を行って、河川の流下能力を確認することもなかなか大変なことです。それをできるだけ安く行うため、空からレーザプロファイラーという装置を使用して地形測量を行い、精度は少し落ちますが、河川の流下能力を算定できるような情報をお届けできないかということで、岡山県さんとも相談しながら進めていこうと考えております。また、風倒木の状況の航空写真を撮影して、空からその状況を皆様にもご紹介したいと考えております。

現在渇水傾向にあります。週末には梅雨入りといわれております。地域の安全・安心が基本でございます。これを確保すべく、国、県、市町村あるいは地域で連携を強化していきたいと考えております。それが地域が元気を出して自立できるための基本的な条件であると思っております。どうぞ皆様方のご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。本日はどうもありがとうございます。

打合せ事項

配付資料の議事次第に基づき、以下の事項について打合せを行った。

1) 今後の協議会運営について

- ・ 昨年度の第16回協議会で承認された規約、今後の協議会体制について事務局から説明。また、平成17年度委員・幹事一覧について紹介。
- ・ 会長及び副会長一名の役員改選
会 長：奥村 忠夫 美咲町長（建部ブロック）
副会長：井手 紘一郎 真庭市長（真庭ブロック）
副会長：萩原 誠司 岡山市長（岡山ブロック）
任 期：平成17年6月7日～平成19年6月6日までの二ヶ年
経 過

市町村合併により昨年度末から会長及び副会長の役員二名が不在となっていた。昨年度、事務局から前会長及び前副会長にご相談したところ、会長として美咲町長をとのご推薦があったことを紹介。協議会の中で、美咲町長も承諾され、全会一致で会長として美咲町長に就任いただいた。また、岡山・建部・真庭の三ブロックの中で各々から役員が選出されることとなっており、副会長については、美咲町長から真庭ブ

ックより真庭市長にお願いしたいとのご推薦があり、真庭市（代理出席）も承諾された。また、現在副会長である岡山市長についても、任期を合わせて引き続き在任いただくことを岡山市（代理出席）も承諾された。

（会長挨拶）

ご紹介いただいた美咲町長の奥村でございます。

新しい美咲町には、岡山県の三大河川の吉井川、旭川の二河川が流れております。特に旧旭町には旭川ダムがあり、流域と深く関わってきた町でございます。私が生まれ育ったところは中央町の国道53号沿いであったということはございますが、以前からこの会に出席させていただいておりましたし、旧旭町長の青野町長さんは非常に川に情熱をもっておられましたので、それを引き継ぎまして、この会を運営させていただくにあたり、会長の任をお受けしたところでございます。

本協議会は、旭川の流域、川をもとにしまして国、県の皆様方のご指導をいただきながら、また連携を保ちながら、流域の発展・防災にもつとめてきたところです。今後も国、県の皆様方からしっかりサポートやご指導をいただきながら、流域の発展につとめてまいりたいと思います。また、今までの国、県のご支援に対し心から感謝を申し上げます。

今後、協議会では合併で町が少なくなりエリアが広がってまいりますが、現在の協議会のメンバーでさらにしっかりとスクラムを組んで地域の発展につとめてまいりたいと考えております。また、新しく部会も出来ておりますが、近年安全安心な地域づくりということで防災面に力を注いでいかねばならない行政の大きな責務があるかと思えます。そうしたものにも、お互いの持っている経験・ノウハウを十分に交換しながら、すばらしい地域づくり、そして住民が安心して暮らせる地域づくりにつとめてまいりたいと思います。

お帰りになりましたら、代理出席の自治体の方々には首長さんにしっかりお伝えいただいて、さらなるご協力・ご支援をいただくことをお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

- ・ 昨年度の第16回協議会で承認された平成17年度支出計画及び協議会負担金の納入について事務局から説明。平成18年度以降の協議会負担金については、昨年度第16回協議会で提示している資料（市：町：村＝3：1：1、但し岡山市は6の割合）を改めて事務局より説明、平成18年度の予算編成時までに負担金割合を検討していくことが確認された。

2) 平成17年度活動計画

- ・ 昨年度の第16回協議会で承認されている年間活動計画を説明。

3) 防災シンポジウムについて

- ・ 6月19日（日）13：30より、岡山市内のRSKメディアコム 大ホールにて開催予定の「防災・減災フォーラム2005 in 岡山」～地域防災の未来「自主防災のススメ」～について説明。旭川流域連絡協議会及び全国のフォーラム開催の動きを併せて、主催を山陽新聞社、地方新聞社連合会、旭川流域連絡協議会は後援として入ることを説明。委員、幹事に加えて、関係機関の防災担当その他の方のご出席を依頼。また、市町村については、地域の消防団や自主防災組織への呼びかけの協力を依頼し、了承された。

4) 旭川一斉水質調査について

- ・ 事務局から、旭川流域ネットワークの調査体制が整っていない箇所や回収にご支援いただいた自治体へ御礼。
- ・ 6月5日（日）実施の調査結果報告。

5) その他

- ・ 参考資料として、昨年度の第16回幹事会、協議会、第17回幹事会議事録、「手づくり郷土賞」、防災・環境関連新聞記事、山陽新聞社作成の「2005年版岡山の防災特集」について紹介。
- ・ 次回開催は、幹事会を9月上旬頃、本会を9月下旬頃に予定。

閉会挨拶 会長 奥村 忠夫 美咲町長

第17回の旭川流域連絡協議会ということでご案内申し上げましたところ、極めてお忙しいところ、お集まりいただき、またたいへんスムーズな議事進行をいただきましてありがとうございました

先程からお話のありましたように、とくに防災面はたいへん大切な問題でございまして、このたび6月19日に計画されている防災シンポジウムが計画されております。シンポジウムには、皆様積極的にご参加いただきまして、また、住民の皆様にもせっかくの機会ですのでPRしながら、そして自主防災についても、住民の皆様自らが意識の向上を図っていただくようなことを進めていきたいと思っておりますので、シンポジウム開催へのご協力をよろしくお願い申し上げたいと思います。

本日は、お忙しい中、最後までご熱心な協議をいただきましたことに重ねて厚く御礼を申し上げ、今後この会がますます発展することを祈りまして、閉会の挨拶とさせていただきます。皆様ありがとうございました。

(以上)